

市有地を活用した地産電源×地域の皆様と共に考えるまちづくり

東急不動産株式会社

(2025年5月)

目次

1. 会社概要
2. 当社再生可能エネルギー事業の基本的な考え方
3. 地域共生事例（みんなで考える・つくる・育てる）
4. 気仙沼市と当社の歩み
5. 気仙沼市における風力×まちづくりの在り方
6. 地域共生と事業のスケジュール
7. 地域活性化の取り組みに関する意見募集について

1.会社概要

東急不動産の取り組み

1918年、渋沢栄一らを中心に田園都市株式会社を設立し、田園調布のまちづくりに取り組んだのが当社グループの原点です。

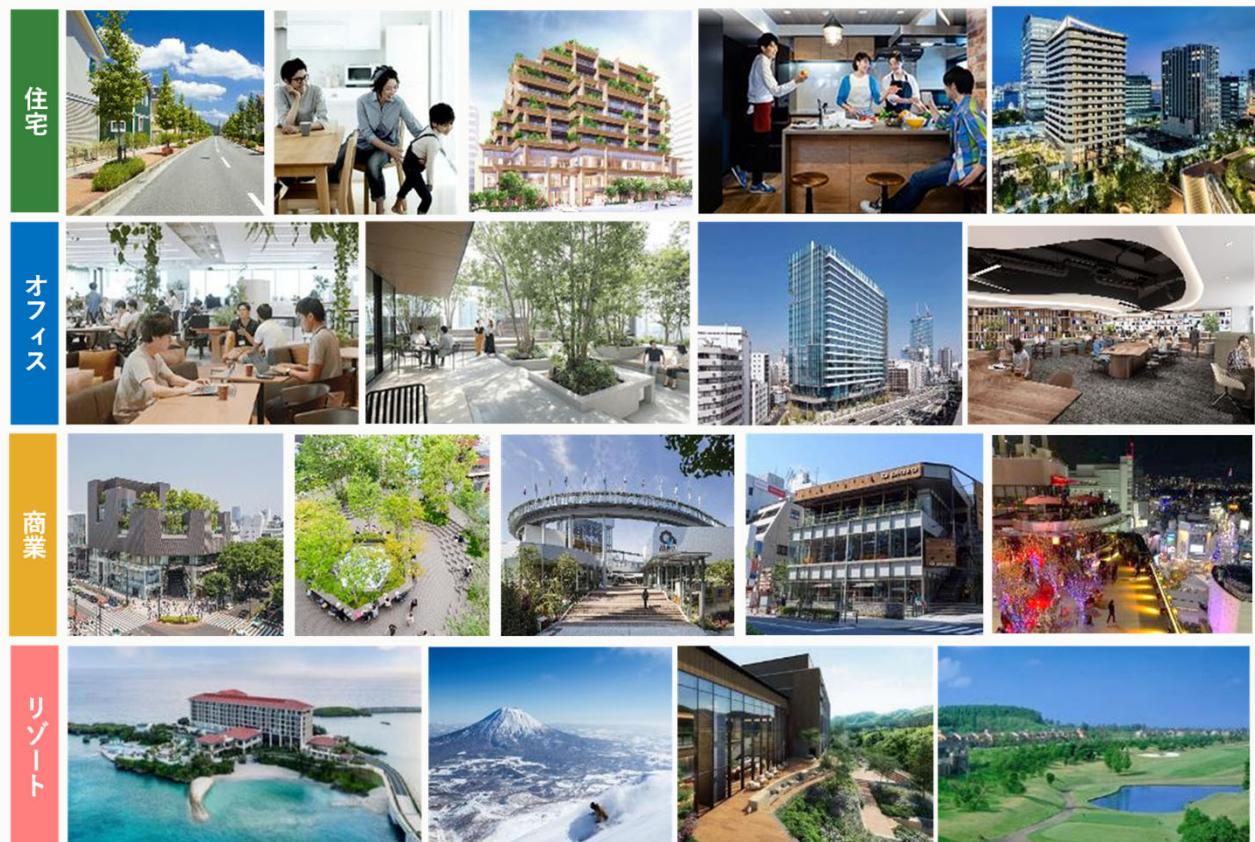
住宅、オフィス、商業施設、リゾートの開発・運営を主な事業とし持続可能なまちづくりを推進しています。



提供：東急株式会社



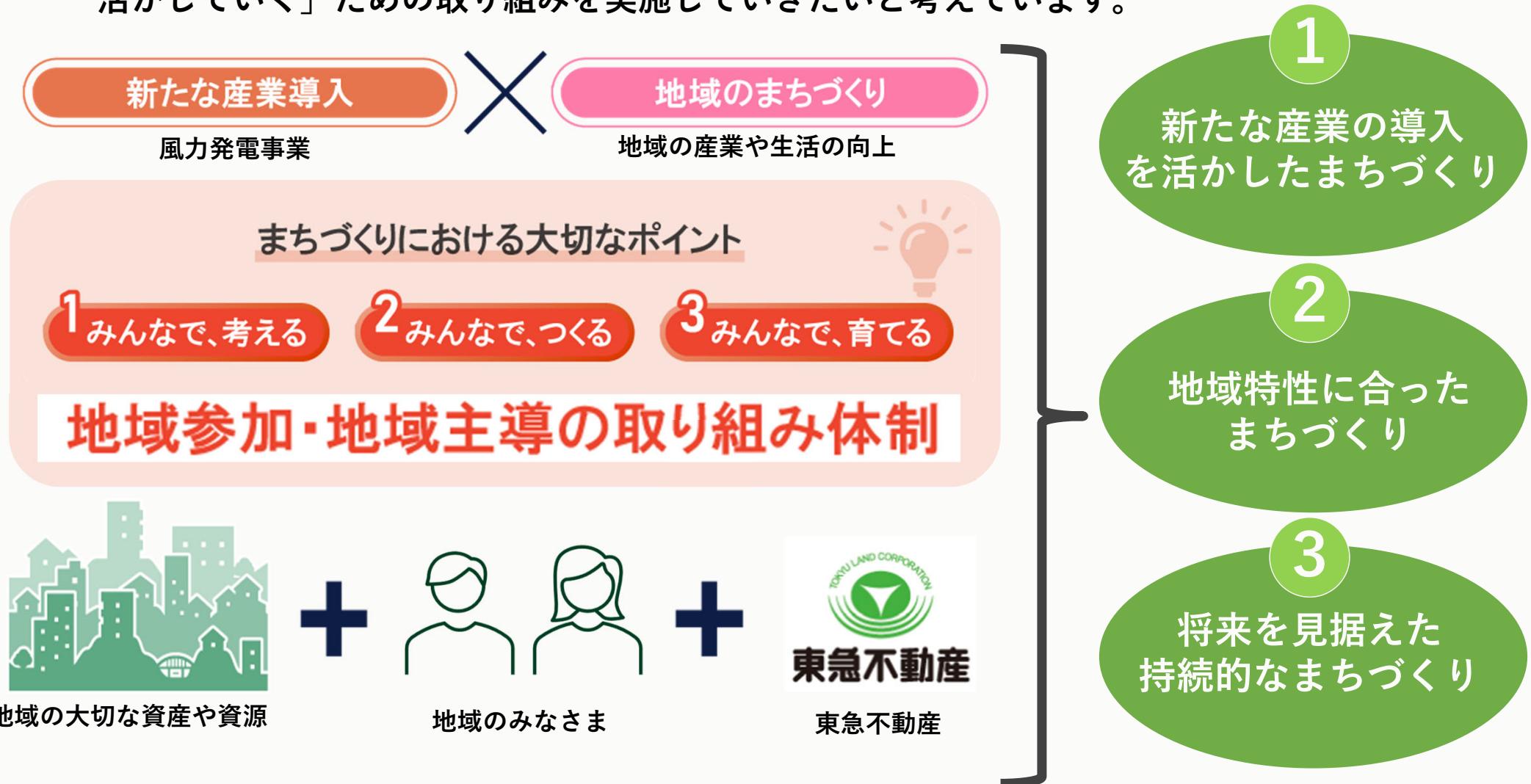
提供：東急株式会社



2.当社再生可能エネルギー事業の基本的な考え方

再生可能エネルギー×地域共生

私たちは、地域のみなさまと共に「再生可能エネルギーの導入を地域のまちづくりに活かしていく」ための取り組みを実施していきたいと考えています。



3.地域共生事例（みんなで、考える）

学生と考える気仙沼PJ

“山間部のまちづくり”を考える



山間部のまちづくりについて
気仙沼に興味のある県外の学生
に協力してもらい、地元の方
からのヒアリングを行い、
活性化についてのアイデアを
まとめいただきました。

青森県の事例 —弘前大学との共同研究—

“港町のまちづくり”を考える



弘前大学と鰺ヶ沢町の子供たちや地域の皆様と共に、これから
の港町の賑わいづくりについて、ワークショップを実施し、アイデアをまとめました。

佐賀県の事例 —佐賀大学との共同研究—

“地域産品のブランド化”を考える



地域の小学生や地域の皆様と共に、地域産品のブランド化について、ワークショップを実施し、アイデアをまとめました。

3. 地域共生事例（みんなで、つくる、育てる）

北海道 松前町の事例 － 風力×教育 －

風車へのお絵描きで
発電所をつくる（設置時）



発電所の建設時に風力発電設備のナセルに地域の子どもたちに絵を書いてもらい、よりエネルギーが身近にあるものであることの理解と発電所の仕組みを理解してもらいました。

北海道 松前町の事例 － 風力×地域活性 －

風車を人が集う場に
育てる（運転開始後）



「風」という資源を活かした町のシンボルとなるような場所を目指し、風力発電所の周辺を公園として利用しています。公園に設置するベンチ・東屋・オリジナルキャラクターを子どもたちとデザインしました。

秋田県の事例 －秋田大学との共同研究－

未利用建物を人が集う場所に
育てる（廃校等）



地域の方に地域の課題解決や活性化につなげていく地域共生の取り組みを推進する活動の拠点・舞台としていただくために、廃校となった小中学校を再活用、「地域交流スペース」や「産業支援スペース」を創出しました。

4. 気仙沼市と当社の歩み

まちづくり事業

再エネ事業



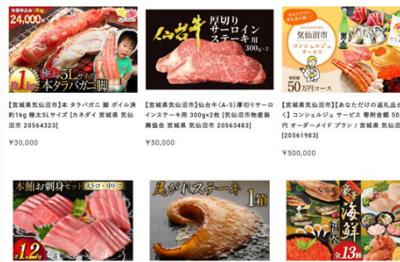
銀座いきなり市場



東急不動産杯



本吉パークゴルフ場



ふるさと納税

■ 東日本復興支援PJ

■ 復興支援アドバイザー派遣

■ 地域イベントへの協賛

■ 内湾地区商業開発計画支援

■ 復興祈念公園整備への寄付

■ ふるさと納税取り扱い開始

■ パークゴルフ場整備への助成



2011



2017



2020



2021



2025

■ 太陽光事業へ参画

■ 太陽光事業の運営開始

■ 風力発電事業へ参画



3月11日からのヒカリ



商業施設 (Pier 7)



リエネ RJ
漆原太陽光発電所



リエネ RJ
泉沢太陽光発電所

まちづくり



再エネ

5. 気仙沼市における風力×まちづくりの在り方

地域振興に関する3つの方針に基づいた施策で地域への好循環を

①山間部地域活性化に関する取り組み

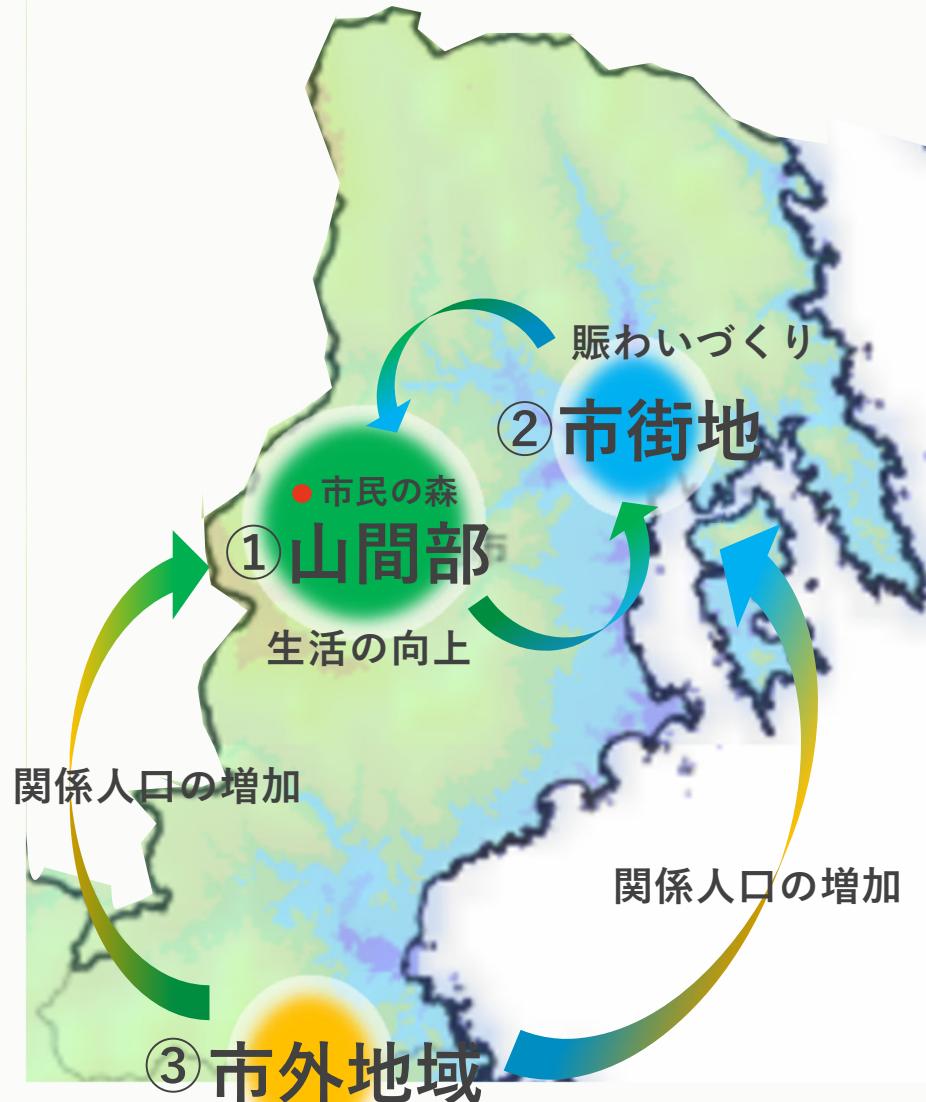
- ・森林機能の維持・整備への貢献
- ・暮らしづくり貢献

②気仙沼市活性化に関する取り組み

- ・観光業への支援
- ・特産品のPR
- ・新たな産業の創出検討
- ・地域全体の産業の活性化等に資する取り組み

③他地域との交流を作る取り組み

- ・地域PR
- ・移住定住の支援
- ・気仙沼市中で人が交流する仕組みづくり
- ・県外、市外と人が交流する仕組みづくり



POINT①山間部地域活性化のアイデア(イメージ)

～市民の森が将来の世代にわたって末永く身近な存在であり続けるために～

①風車の資源で再活性化

かつて地域の催事や学校の遠足等で利用されてきた市民の森が、ふたたび幅広い世代にとって身近で、多くの利用者でぎわう場となるために、風力発電事業とともに周辺整備をおこない、さまざまな仕掛けづくりを支援します

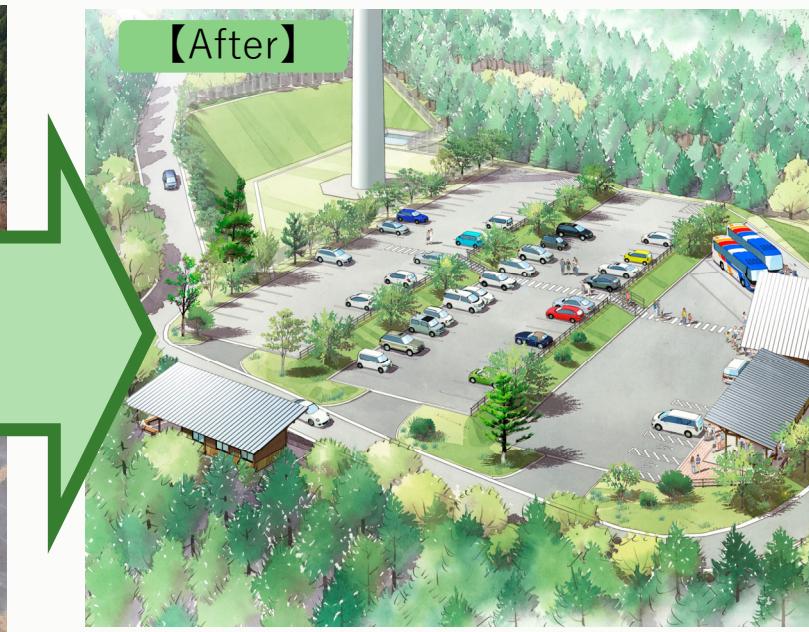
②将来世代の、自然とエネルギーの教育の場の拠点に

駐車場横に設置を予定している風車は市民の森で随一のアクセスの良さを誇ることから、将来世代の子供たちに自然とエネルギーの調和する、エネルギー環境教育の拠点として整備します

③森林整備の基金拠出

市民の森を継続して活用していくよう、森林の保全のための基金を拠出します

- ✓ 利用者の回遊性向上、認知度向上
- ✓ 海の恵みにつながる森の整備・維持における地域との連携



※上記はイメージ図です。

【参考】
リエネウインドファーム松前

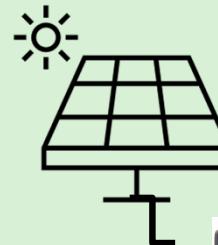
POINT②山間部地域活性化のアイデア(イメージ)

■暮らしづくり貢献

✓ 自治会のBCP対応

ポータブル蓄電池、太陽光パネル、非常用備蓄品等

■近隣自治会に蓄電池、発電用パネルを配置



✓ 山間部の暮らしに活用してもらう基金の拠出

草刈委託費用への活用等

■災害用備蓄倉庫を設置



非常用食品や、
簡易トイレ、
防寒用品など
倉庫に常備

✓ 山間部と市街地、若者を繋ぐ支援

学生による地域活性化策の検討PJ

■学生と考える地域活性化策PJ



【当日の様子】

【学生が考えた検討案】

「気仙沼市活性化」 POINT③ 「他地域との交流」に関するアイデア(イメージ)

気仙沼のPR（特産品PR等）

気仙沼に関するPRイベントを開催し、特産品の販路拡大、地域産業の活性化を支援



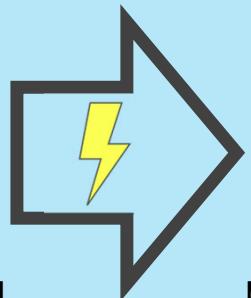
【まちづくりのPR】



【イベント当日の様子】

電気の地産地消

電気の売り先を選べる新しい制度を活用して、地域で作った電気と収益の地産地消を検討



【宮城気仙沼風力発電所】

【気仙沼市内の施設】

探求型教育の拡大（県外学生との交流）

他地域との交流事業や、県外の学生を教育で誘致、再生可能エネルギー発電所のある地域同士を繋ぐ



【地域をつなぐリモート授業（北海道松前町と茨城行方市）】

他地域との交流

定期的なPRイベント等を通じ、当社が事業を行っている他地域との交流を活性化。移住定住イベントなどへの支援を行い、他地域からの人材獲得を支援



【北海道松前町におけるワーケーション誘致の取り組み事例】

6. 地域共生と事業のスケジュール



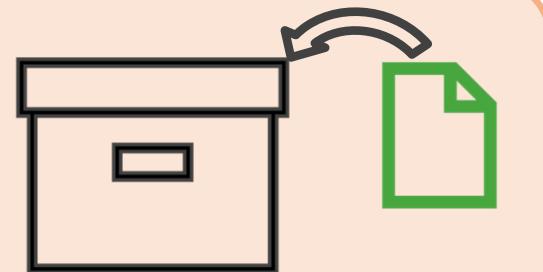
7.まちづくりに関する意見募集について

弊社では今回の事業における地域共生策を、気仙沼市の皆様から広く募集いたします。「こんなまちにしたい」という将来の気仙沼市のイメージや、「気仙沼市でこんなことをしてみたい」といった皆様のアイデアをお寄せください。

いただいたご意見は、地域の皆様との共生策を議論する場において、一つの案として提出させていただきます。

■記載事項（書式なし）

- ・タイトル「気仙沼市のまちづくりに関する意見書」
- ・氏名
- ・まちづくりに関するご意見



■まちづくりに関する意見書の提出方法

①郵送：

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号 渋谷ソラスタ
東急不動産株式会社 環境エネルギー事業第二部 宛

②メール：miyagikesennuma_wind@tokyu-land.co.jp

③フォーム：<https://forms.office.com/r/AG3ye0GkjN>



【ご意見提出フォーム】

※アセスメントに関するご意見の提出先は異なりますので、準備書説明会資料をご確認ください。

お問い合わせ先

東急不動産株式会社
インフラ・インダストリー事業ユニット
環境エネルギー事業本部 環境エネルギー事業第二部
担当者：龍崎

■住所：

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号

■TEL：

03-6455-2690
(土・日曜日及び祝日を除く、午前9時30分から午後6時まで)

■MAIL：

TLC_Assessment@tokyu-land.co.jp

本事業に関するお問合せ等は、下記までお願ひいたします。

連絡先

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号

東急不動産株式会社

インフラ・インダストリー事業ユニット

環境エネルギー事業本部 環境エネルギー事業第二部

担当者：龍崎

tel : 03-6455-2690

(土・日曜日及び祝日を除く、午前9時30分から午後6時まで)

e-mail : TLC_Assessment@tokyu-land.co.jp